

# 世界連邦 Newsletter

2013年 7月28日

第618号

発行所



世界連邦運動協会

World Federalist Movement of Japan

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F

電話 (03) 6803-2114 FAX (03) 6803-2117

E-mail: info@wfmjapan.org Twitter: wfmjapan

URL: http://www.wfmjapan.org/

郵便振替 00190-6-29964

1部 100円 (年6回 奇数月1回 28日発行)

## 中東国際交流プロジェクト三年振りに京丹後市で開催決定



写真は前回 2010年 7月綾部市で行われた様子

イスラエルとパレスチナの紛争で親族を亡くした子どもを日本に招き、開催市の市民と共に交流する「中東国際交流プロジェクト」が、3年振りに8月8日から5日間、京丹後市を中心に行われることとなった。

主催は「中東国際交流プロジェクト in 京丹後実行委員会」(会長: 中山泰 京丹後市長)。8回目の今回は、それぞれ5人の高校生らを含む双方の参加者が来日する。

同プロジェクトの目的は、イスラエルとパレスチナの紛争等で肉親を亡くすなど、心に傷を負った子どもたちを京丹後市に招き、市民との触れ合いや異文化交流を通じて国際交流活動を推進して

同プロジェクトは「世界恒久平和を築くため、世界中の人々が地球市民として、国境を越えてお互いに連帯しよう」という世界連邦の趣旨に基づき、2003年に、京都府綾部市(世界連邦宣言第一号都市)の四方八洲男前市長(世界連邦宣言全国自治体協議会前会長)の呼びかけで始まった。交流を通じ、イスラエル、パレスチナ及び日本の青少年が平和の尊さや相互理解の重要性を学ぶ国際イベントとして注目されている。

いくとともに、平和の大切さを認識し、国内地域のみならず、国外に向けた貢献活動を実施することにより、幸福を豊かに育てていくまちづくりに資することである。

子ども達はホームステイやゆかたの着付けや茶道などの文化体験、地元の夏祭りや豪商本家の見学などを行う予定である。また、イスラエル、パレスチナの高校生らは、京丹後市内でホームステイを体験し、8月12日には首相官邸を訪問する予定になっている。

参加した子ども達が心をうち溶け合って、将来、和平へのリーダーとなることを強く願う。

(阿久根 武志)

### あなたも世界連邦運動協会の会員になりませんか

入会希望の方は、住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書きの上、郵送または FAX にて下記の本部事務局へお申し込み下さい。

世界連邦運動協会 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F

電話 (03) 6803-2114 FAX (03) 6803-2117

普通会員/年額 5,000円  維持会員/年額 10,000円  賛助会員/年額 15,000円

## モラロジーと世界連邦 世界連邦・北海道 15 回総会

5月19日午後、札幌エルプラザ2階会議コーナーにて世界連邦北海道が総会を開催した。総合司会者松藤日出男事務局長が旭川支部の世界連邦平和都市宣言活動等の状況報告。荻野代表は挨拶で、あと2段階で世連実現に至る状況を語り、その実現が焦眉の急であり、海部・横路コンビの政治活動への期待

麩の修行に出ることに。火災で秋田屋廃業になり北5西11現在地で明治42年、創業。良い水が出るところで今は80mの地下水を用い、百年あまり続けている。父は戦争中、兵隊になり、休業。帰国して事業再開。その頃の昭和23年に私が生まれた。若い時から父と祖父が仕事をしているのを見ていた。当時は

炭火で麩を焼いていて、夏は暑かった。父の仕事をそろばんで売り上げ計算の手伝いもした。

高校では勉強はできる方で大学に行きたいとあったが、早く手伝うようにと思う父は頭を縦に



を述べた。総合司会者が吉川貴盛衆議員議員からの祝電を披露し、議長に日色無人副代表を選任。松藤事務局長の平成24年度事業報告、三浦一孝常任理事の会計収支決算報告、田山耕平監事の監査報告を何れも了承。

次いで審議に入り、松藤事務局長の25年度事業計画案および行事日程案の説明、三浦常任理事の25年度予算案説明を質疑の上決定。市橋佳子理事の退会・退任と他の役員留任を決定。来る25日の世界連邦運動協会総会への支部提案「1.世界完全軍縮過程の安全弁」と「2.世界連邦の日の活性化」を荻野代表が説明。軍という用語使用を慎重になどの質疑・審議の上決定。議長退任。

小山松男氏(会員、(株)小山製麩所社長、全国製麩工業会理事長、モラロジー研究所社会教育講師)が「心新たに生きる モラロジーと世界連邦」と題する記念講話を行なった。

### 【要約】

荻野代表が桑園小学校長の時、PT会長として出会い、啐啄(そったく)同時の講話などから師表と感じ、爾来30余年、桑園小の同窓会長である私は、卒業式等でお会いしてきた。この度会員になり、この度の話になった。生業は麩を含めて四本柱、やき麩、なま麩、ゆば、惣菜等の製造販売、レストラン経営。祖父の母が秋田屋で麩をよく使うので16歳の祖父が

振らなかった。夜間の短期大学と専門学校に学び、昼は仕事、夜は大学に通いながら家を継いだ。煉瓦積み士が、ただ積んでいるのではなく、俺は学校を作るのだというような目的意識を持って働くことが大事だ。世界を見る目を持ち、道内でただ一つの仕事を守り、古いが見本にされる会社でありたい。今は不景気、創業と守成を考える。どちらも大変であるが、創業は健康であればできる。ひたむきに麩革命に邁進した創業者、その親の徳のおかげをいただき、金魚の餌と言われないような誇りある事業にと努めている。まだ不安定がある。大丸デパートの8F、64坪の「北の麩庵」、1Fの惣菜店。すごいと言われるように、欲でやっていたが、人員を縮小。西野の「北の麩庵」ではその地の競売問題で閉店。守成、30年。創業以上に社長の品性がないと乗り切れない。

それを教え導いてくれる学問、モラロジー。桑園小でお世話になった後継ぎの息子にも、90人の従業員を思いやる心を忘れずにと教えている。23歳の時、父がモラロジーに行けと言ってくれたことは有難い。そしてモラロジーが世界の平安を旨とする学問で、今、世界連邦運動に出会えたことに感謝している。

講話に代表が「北の麩庵」の繁盛を喜ぶ謝辞を述べ、総合司会者の閉会の辞で閉会。

(荻野 忠則)

## 本部と支部等の動き

7月24日～26日 WFM 理事会 ニューヨーク

7月26日 世界連邦宣言自治体全国協議会総会 焼津市

8月2日 第一回執行理事会 衆議院第二議員会館

8月8日～13日 中東国際交流プロジェクト

主催：同プロジェクト実行委員会 主に京丹後市にて

## 京都支部 総会及び特別講演 —日本人初の宇宙飛行士 秋山豊寛氏が講演—

京都支部では、6月30日 京都鹿ヶ谷の法然院 方丈の間にて総会が催された。会場には 約80名が参加した。引き続き、特別講師として 日本人初の宇宙飛行士 秋山豊寛氏より、「地球のいのちと子供たち」というテーマでの講演が行われた。



### 【特別講演の要旨】

宇宙船に乗り込みそこから見た、宇宙や地球の様子や、その裏側の国際政治と背景社会、今日の世界の利害関係・政治・経済について語る。

述べ9日間、144週の飛行の後、生命のかたまりである“宇宙船 地球号”に帰還してから、命の基本である「食」を繋ぐことが、これから自分のすべきこと…との思い

で、「農」に携わった。十数年の無農薬栽培での農業経験を通して、農薬と食べ物についての問題に触れた。

また、欧米で蜂の大量消滅が問題になったが、その原因がネオニコチノイド系の農薬である。脳や神経系を侵す農薬であると認められ、昨年 EU 全域で使用禁止となったが、嘆かわしいことに未だに日本の関係者の中には「他の国のことで日本は大丈夫でしょう」とい

う者がいる。体内で毒性が強まるこの農薬は、私たちが少しずつ舐んでいる。

そして、東日本大震災が起こり、自分自身が被災し、被爆者となったという状況の中、放射能の問題について原発が今もなお、放射能を蒔き散らしている状況で、せめてできることは、食べ物による 内部被曝を抑えることである。

いずれも大人が作ってきた環境である。この歳まで生かされたものは、未来を繋ぐ子供たちを守る責任を果たすべきではないか。これからでも遅くはない、一人ひとりができることで責任を果たし、次世代に繋げる環境を作って行きたいものである。

(京都支部 支部長 品川幹雄)

### 秋山豊寛 (あきやま とよひろ) 氏プロフィール

1942年6月東京生まれ。国際基督教大学 (ICU) を卒業後、東京放送 (TBS) に入社し、政治部記者、ワシントン支局長、外信部デスク、国際ニュースセンター長、報道局専任局長を歴任。

1990年12月2日、日本人初の宇宙飛行士として、ソ連の宇宙飛行士2人と共にソユーズ宇宙船に乗船。1995年にTBS退社後、福島県滝根町で農業を営み、無農薬栽培などを実践するが、3・11 東日本大震災と原発問題により、現在 京都にて在住。2011年11月より、京都造形芸術大学 教授に就任。

## 第42回世界連邦推進全国小中学生ポスター作文コンクール募集開始

1972年に始められた「世界連邦推進全国小中学生ポスター・作文コンクール」が、今回で42回目の開催を迎え、下記の要領で行われる。

### 概要

1. 世界連邦運動協会の支部・支部連合会・各宣言自治体を単位とした地区ごとに募集。
2. それぞれの地区で審査し、展示会を開催し優秀作品の表彰を行う。
3. 優秀作品は、中央でさらに審査、展示、表彰される。
4. 応募作品は原則として返却しない、著作権は主催団体に属する。

### 応募作品の規程

〔ポスター〕 大きさ B3版 (364mm×515mm)

ポスターカラー、水彩、クレヨン、はり絵、ソフトペン、その他

〔作文〕 小学生 400字詰原稿用紙2枚以内

中学生 400字詰原稿用紙4枚以内

### テーマ

「持続可能な地球社会」の統一テーマの下で、「世界はひとつ」「人類みな家族」「地球はみんなのもの」「みんな友達」「世界連邦をつくらう」「戦争をなくすために」「地球に恒久平和を」「地球環境の保全」「かけがえのない地球」「環境と平和」「私たちの地球を守らう」などの観点からポスターや作文を作成して下さい。

**主催** 世界連邦運動協会

**後援** 文部科学省 世界連邦宣言自治体全国協議会

### 募集期間

2013年7月1日～9月30日 (地区の事情により若干変更あり。)

### 展示

地区表彰式・展示 2013年10月～11月

全国表彰式・展示 2014年2月予定

### 表彰

地区表彰 入賞 (ポスター・作文とも) 若干名

佳作 (ポスター・作文とも) 若干名

全国表彰 文部科学大臣賞 (ポスター・作文とも) 各1名

特賞 (ポスター・作文とも) 各3名

湯川スミ賞 (ポスター・作文とも) 各1名

入賞 (ポスター・作文とも) 各10名

佳作 (ポスター・作文とも) 若干名

### 作品送付

コンクールを開催している最寄りの支部または本部 (〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F) へお送りください。

### 【お願い】

各支部で昨年度の入賞作品 (ポスター) の展示会を、市役所や図書館のロビーなどで開催し、コンクール応募者の拡大に繋げてください。要請に応じ随時作品を貸し出します。

## 世界連邦の標語募集

このたび世界連邦運動協会は、世界連邦の標語を全国的に募集いたします。下記のごとく実施いたしますので、各支部および加盟団体におかれましては、団体・個人の別なく奮ってご応募ください。

### <趣 旨>

世界各地での紛争や環境問題などの危機的状況が更に深刻さを増している現在、戦争根絶と人類共生のための世界連邦は、その早期実現がこれまで以上に強く求められています。このような時に、私たち自身で心が躍動するほどの標語を作り上げ、その下に会員が結集するならば、運動の推進に拍車がかかるものと期待いたします。それが全国の会員から世界連邦の標語を募集する所以です。

なお、標語は会員のモチベーションを引き出すものでなければなりません、それだけでなく広く国民の理解と共感が得られるわかり易いものであることが必要です。また、思い切った発想で、強烈にア

ピールするものであってほしいと思います。そのような標語をどしどしお寄せください。

ご参考までに過去の事例を掲げます。

一例：世界の廃藩置県で世界連邦を（尾崎行雄）

### 記

【標語づくり】20文字以内にまとめる。提出者（製作者）の所属、氏名を明記する。

【募集期間】8月1日～10月31日

【提出先】〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F 世界連邦標語係

【提出方法】Fax 03-6803-2117 E-mail : akunetakeshi@gmail.com 件名：世界連邦標語

【審査・表彰】世界連邦運動協会が選考委員会を設けて審査。入選20点、最優秀賞1点、優秀賞5点。賞状、賞品を授与。主催：世界連邦運動協会。発表は新年のニューズレターで行う。

## 第31回世界連邦日本大会（大阪2013）

### 「今こそ 世界連邦を」

主催：世界連邦推進日本協議会

<日 時>2013年11月10日（日）

日本大会 午後2時～午後4時（午後1時30分開場）

<場 所> 大阪国際会議場 10F

会議室（1001-1003）

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

最寄駅 京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口すぐ）

<参加費>1,000円（会場費、資料代等を含む）

<後援団体（予定）>

大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・財団法人大阪21世紀協会・大阪市PTA協議会・毎日新聞大阪本社

### 記念講演

講師：田原 総一郎

1934年滋賀県彦根市生まれ。早稲田大学文学部卒業・岩波映画製作所、テレビ東京を経て、'77年フリーに。現在は政治・経済・メディア・コンピューター等、時代の最先端の問題をとらえ、活字と放送の両メディアにわたり精力的な評論活動を続けている。テレビ朝日系で'87年より「朝まで生テレビ」'02年4月より母校・早稲田大学で「大隈塾」を開講、未来のリーダーを育てるべく、学生たちの指導にあたっている。'05年4月から早稲田大学特命教授。

<第1部>・・・午後2時～3時

開会式

会長あいさつ 海部 俊樹（元内閣総理大臣）

シンポジウム 「今こそ 世界連邦を！」

<第2部>・・・記念講演

午後3時～4時

「どうなる世界の平和！」

講師：田原総一郎氏

<懇親会> 午後5時00分～

午後7時00分（予定）

会場 リーガロイヤルホテル

会費 1万円



お問い合わせ・送付先

第31回世界連邦日本大会実行委員会事務局

京都・大阪府支部

〒530-0045 大阪市北区天神西町 8-17 テンマセントラルビル 2F TEL 06-6313-8010

本部事務局 阿久根 TEL 03-6803-2114

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F

E-mail : akunetakeshi@gmail.com

## TICAD V パートナー事業

### ～アフリカの発展と国際連帯税・金融取引税に関するシンポジウム～

5月30日(木)午後6時30分より神奈川県民センター・ホールにおいて「アフリカの発展と国際連帯税・金融取引税に関するシンポジウム」が行われた。

このシンポジウムは6月1日～3日にかけての第5回アフリカ開発会議(TICAD V)に先立ち TICAD V パートナー事業として開催された。



(発言するイボンヌ・チャカ・チャカ氏)

国際連帯税フォーラム(世界連邦運動協会など、国際連帯税創設を目指す10数団体により構成)の主催、世界連邦日本国会委員会や横浜市が後援した他、多くの共催・後援団体が加わった。

塩浜修・世界連邦日本国会委員会事務局長が司会を務め、上村雄彦・横浜市立大学教授、南アフリカ出身の著名な歌手でロールバック・マラリア親善大使を務めるイボンヌ・チャカ・チャカ氏、UNITAID(国際医薬品購入ファシリティ)のデニス・ブルーン事

務局長、国際連帯税議員連盟より川口順子会長と石橋通宏事務局長、国際連帯税フォーラムの田中徹二・白須紀子両代表理事らが発言した。

音響・受付・会場設営などについては世界連邦21世紀フォーラム支部の成田好孝氏が運営責任者となり、21世紀フォーラム会員らが運営の中心となって汗を流した。

多くの学生や海外からの参加者も含め、約150名が入場。アフリカの開発のために国際連帯税など革新的資金調達メカニズムを導入する重要性を市民にアピールする機会となった。



(WE LOVE AFRICA を掲げて記念撮影する参加者一同)

(塩浜 修)

## 核兵器をなくす声を届けよう

世界連邦運動協会は、核廃絶日本 NGO 連絡会に所属して、核兵器なき世界を目指している。しかし「いかなる状況においても、核兵器が使用されないこと」を求めて、核兵器の非人道性を訴えた国際共同声明に、日本政府は署名しなかった。

これはすなわち、アメリカの核の傘に依存し、被爆国である日本が、いざとなれば核攻撃も容認するということを意味する。核兵器が使われたら壊滅的な被害が生じるとともに、放射能や核の冬による長期的な被害にも見舞われる。

核兵器なき世界をめざすという言葉が日本政府が本当に実行しようとしているのか、わたしたち市民は注視していかなければならない。

核廃絶日本 NGO 連絡会

<http://nuclearabolitionjpn.wordpress.com/>

(阿久根 武志)

## Think Asia という境地 伴 武澄(財団法人国際平和協会)

この文章がニューズレターに掲載されるころには参院選も雌雄が決しているはずだ。今日は小生が関わっている財団法人霞山会の広報誌「Think Asia」について紹介したい。2年前の創刊号に「孫文、梅屋庄吉、そして滔天、良政」と題してエッセーを書いた。アジアの平和は日中韓の協力無くして成り立たないことは自明の理である。にもかかわらず、この3カ国がこのところ角を突き合わせている。アジアにもう一度燈(ともしび)をとという思いがあった。

100年以上も前のことである。清朝が内部崩壊し西洋列強がアジアに支配を拡げていた時代、アジアには危機感を共有する組織や個人が多くあった。小生がアジアに関心を持ち始めたきっかけは宮崎滔天が書いた『三十三年の夢』にあった。

熊本出身の滔天が我が身を振り捨てて孫文の革命に尽くした物語である。こんな日本人がいたのだという驚きだった。学校では日本がアジアを侵略したと教わったが、そうでない人たちもいたことにある種の誇りを感じたものだった。

大学の卒業論文ではインドの革命家、チャンドラ・ボースに挑んだ。第二次大戦中、英印軍のインド人兵士を再編成し、インド国民軍を編成。日本とともにインパールの地を目指した。小生には世上、愚挙とされたインパール作戦が別のものに見えてきたのだった。

アジアとの共感定年後の今も続く。高知市に住み始めて、わが郷里に萱野長友という偉人がいたことを知った。滔天の物語に名前は出て来ていたが、長友の物語を学んで、これほどまでに孫文に信頼されていた人物がいたのかという新鮮な驚きがあった。

Think Asia はそれこそ国境を意識しない意思を意

味する。国際平和協会で生まれた造語である。われわれは日本語で「アジアの意味」を訳している。現在の中国も韓国も戦前の日本にある種似た国民感情があるように思う。「売国奴」といわれたくないという国民意識である。国家に忠誠であろうとすればするほどその意識は強まる。

両国に共通する「反日」は心からのものではないと思いたい。なにやら分らない大きなものに巻き込まれて「反日」を声高く叫んでいるだけなのだと思いたい。「反日」を叫んでいるかぎりにおいて自分は安全地帯にとどまっておられる。それに油を注ぐのがマスメディアなのである。

学生時代、ゼミの研究室に韓国の女性が訪れて話したことが忘れられない。「日本人は韓国で悪いことばかりしたのではないのよ」と母親からさとされたというのである。「木を植えることを教えてくれたのは日本人よ」という話だった。今も昔も日本をほめることは韓国において命取りである。プライベートの席とはいえ、初めて会った我々の心をほぐしてくれた一言だった。

その時以来、小生は売国奴と呼ばれるほどのアジア人になりたいと思っている。本当は地球人といいたいところだが、まだまだ精神修養が足りない。せめてThink Asia の意思は持ち続けたい。東大を退官したばかりの姜尚中さんが最近、国際基督教大学で講演し、「東アジア共同体の虚妄に賭けてみたい」と話したそうだ。「虚妄」というところに姜さんのすごみがあるように感じられ、姜さんも Think Asia の一人だったのだと一人合点した。

**編集後記** ★中東国際交流プロジェクトの復活が本当に嬉しい。同プロジェクトは、世界連邦の理念を最もわかりやすく示すものである。(塩浜) ★平素は世界連邦運動にご協力いただきありがとうございます。熱中症などに気を付けてお過ごしください。(阿久根) ★最近『夢の中に生きた男たち』を読んだ。柔道家、太田節三がアメリカで財閥の娘と結婚し、巨大な富を手にして世界平和財団なるものを結成、日米戦争の回避に動いたという物語である。フィクションも多いが考えさせられる本だった(伴武澄)